

平成26年度 細胞診専門医資格認定試験

<細胞像問題>

問題 1 43歳、女性、不正出血。子宮腔部綿棒擦過

1. NILM (慢性頸管炎)
2. NILM (ヘルペス感染)
3. HSIL (高度異形成)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 2 41歳、女性、検診。子宮腔部綿棒擦過

1. NILM (扁平上皮化生細胞)
2. NILM (修復細胞)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 3 34歳、女性、検診。子宮腔部綿棒擦過

1. NILM (修復細胞)
2. NILM (頸管腺細胞)
3. HSIL (中等度異形成)
4. HSIL (上皮内癌)
5. AIS (上皮内腺癌)

問題 4 45歳、女性、不正出血。子宮腔部綿棒擦過

1. NILM (修復細胞)
2. HSIL (上皮内癌)
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 癌肉腫

問題 5 52歳、女性、検診。子宮内膜ウテロブラシ

1. 増殖期内膜

2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜腺癌 G1
5. 漿液性腺癌

問題 6 43 歳、 女性、 不正出血。子宮内膜エンドサイト

1. 子宮内膜増殖症
2. 類内膜腺癌 G1
3. 類内膜腺癌 G3
4. 明細胞腺癌
5. 子宮内膜間質肉腫

問題 7 48 歳、 女性、 不正出血。子宮内膜吸引法

1. 分泌期内膜
2. 萎縮内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜腺癌 G1
5. 類内膜腺癌 G3

問題 8 58 歳、 女性、 不正出血。子宮腫瘍捺印

1. 類内膜腺癌 G3
2. 明細胞腺癌
3. 癌肉腫
4. 子宮内膜間質肉腫
5. 悪性リンパ腫

問題 9 72 歳、 女性、 腹部膨満。卵巣腫瘍捺印

1. ブレンナー腫瘍
2. 莢膜細胞腫
3. 漿液性腺癌
4. ディスジャーミノーマ
5. 胎児性癌

問題 10 79 歳、女性、不正出血。外陰ブラシ擦過

1. ヘルペス感染
2. 尖圭コンジローマ
3. 軽度異形成 (VIN 1)
4. 扁平上皮癌
5. 乳房外パジェット病

問題 11 77 歳、男性、血痰、胸部異常陰影。喀痰

1. 基底細胞増生
2. 扁平上皮癌
3. 小細胞癌
4. 腺癌
5. 悪性リンパ腫

問題 12 40 歳、男性、胸部 CT ですりガラス影。気管支肺胞洗浄液

1. ヘルペスウイルス感染
2. サイトメガロウイルス感染
3. アスペルギルス感染
4. クリプトコッカス感染
5. ニューモシスチス・イロベチ感染

問題 13 60 歳、男性、気管支腫瘍。気管支鏡中吸引痰

1. 杯細胞増生
2. 過誤腫
3. 硬化性血管腫
4. 腺癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 14 66 歳、男性、胸部異常陰影。肺腫瘍捺印

1. 結核
2. 過誤腫

3. 扁平上皮癌
4. 大細胞癌
5. 平滑筋肉腫の転移

問題 15 65 歳、男性、血尿。自然尿

1. 反応性尿路上皮
2. 尿細管上皮
3. 乳頭腫
4. 尿路上皮癌（低異型度）
5. 腺癌

問題 16 75 歳、女性、腎腫瘤。腫瘤捺印

1. 腎結核
2. 血管筋脂肪腫
3. オンコサイトーマ
4. 尿路上皮癌
5. 淡明細胞型腎細胞癌

問題 17 69 歳、男性、閉塞性黄疸。胆汁

1. 再生上皮
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 肝細胞癌
5. 悪性黒色腫

問題 18 48 歳、女性、甲状腺腫脹。甲状腺穿刺吸引

1. 亜急性甲状腺炎
2. 慢性甲状腺炎
3. 濾胞性腫瘍
4. 髓様癌
5. 悪性リンパ腫

問題 19 45 歳、女性、乳腺腫瘍。腫瘍穿刺吸引

1. 乳腺症
2. 線維腺腫
3. 浸潤性乳管癌
4. 粘液癌
5. 浸潤性小葉癌

問題 20 80 歳、女性、胸水貯留。胸水穿刺

1. 組織球
2. 反応性中皮
3. 悪性中皮腫
4. 腺癌
5. 悪性リンパ腫

問題 21 74 歳、女性、胃癌。術中腹水

1. 組織球
2. 反応性中皮
3. 悪性中皮腫
4. 腺癌
5. 悪性リンパ腫

問題 22 76 歳、女性、耳下腺腫瘍。腫瘍穿刺吸引

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 腺様嚢胞癌
4. 唾液腺導管癌
5. びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫

問題 23 61 歳、男性、頸部腫瘍。腫瘍捺印

1. 反応性リンパ濾胞過形成
2. 結核性リンパ節炎
3. 腺癌

4. 悪性黒色腫
5. ホジキンリンパ腫

問題 24 68 歳、男性、下肢皮下腫瘍。腫瘍捺印

1. 類上皮肉芽腫
2. 神経鞘腫
3. 線維肉腫
4. 平滑筋肉腫
5. 横紋筋肉腫

問題 25 58 歳、男性、大脳腫瘍。腫瘍圧挫

1. 神経鞘腫
2. 髄膜腫
3. 星細胞腫
4. 膠芽腫
5. 悪性リンパ腫

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて誤っているのはどれか。

1. 報告書の保存期間は5年間を基本とする。
2. 細胞検査士は常勤であることが必須である。
3. 細胞診専門医は常勤であることが必須である。
4. 疑陽性例判定報告は細胞診専門医のチェックが必須である。
5. 陰性例の10%以上は、ダブルチェックを行うことを基本とする。

問題 27 一般的な悪性判定の基準として誤っているのはどれか。

1. 壊死性背景
2. 核小体の肥大
3. 核縁の不均等肥厚
4. 核クロマチンの増量
5. 核・細胞質比 (N/C 比) の減少

問題 28 検体の採取と処理に関して正しいのはどれか。

1. 乳頭分泌物は患部をマッサージして採取する。
2. 脳腫瘍の検体にはすりあわせ標本が適している。
3. 胸・腹水は背臥位で安静を保った後検体を採取する。
4. 胆汁は採取後、検体処理までの間は冷蔵庫に保存する。
5. 穿刺吸引細胞診では注射器に陰圧をかけたまま穿刺部位より針を抜く。

問題 29 パパニコロウ染色に関して正しいものはどれか。

1. パパニコロウ染色の固定液は 70%エタノールである。
2. オレンジ G は角化細胞をわかりやすくする。
3. ホルマリン固定したものでも染色性は良好である。
4. 標本の固定前の乾燥は染色性に影響を及ぼさない。
5. ヘマトキシリン・エオジン染色に比べ核内所見が不明瞭である。

問題 30 次の組合せで誤っているのはどれか。

- |             |   |       |
|-------------|---|-------|
| 1. 乳癌       | — | HER2  |
| 2. 肺癌       | — | ALK   |
| 3. 大腸癌      | — | EGFR  |
| 4. B 細胞リンパ腫 | — | CD20  |
| 5. 悪性中皮腫    | — | TTF-1 |

問題 31 ベセスダシステム 2001 について正しいのはどれか。

1. 移行帯細胞のみられない標本は不適正と判断する。
2. LBC 標本にはベセスダシステムを適応しない。
3. CIN2 は LSIL と判断する。
4. HPV 感染に伴う扁平上皮細胞の変化は NILM と判断する。
5. ASC-US と判断した場合はハイリスク HPV 検査が推奨される。

問題 32 対策型子宮頸がん検診について正しいのはどれか。

1. 妊娠中は施行しない。
2. 腔壁から細胞を採取する。

3. 対象年齢は 20 歳からである。
4. HPV 併用検診が推奨されている。
5. 近年日本での検診受診率は欧米と同等である。

問題 33 子宮頸部上皮内癌の細胞像について正しいのはどれか。

1. 腫瘍性背景を示す。
2. 深層型の異型細胞が主体となる。
3. 核縁不整、核溝の出現頻度が高い。
4. 大型の核小体が出現する。
5. 異常角化細胞が多数出現する。

問題 34 子宮内膜細胞診について正しいのはどれか。

1. 対策型検診の有効性が証明されている。
2. 子宮体癌の陽性的中率は 40 - 50%である。
3. 核分裂像が認められれば陽性と判定する。
4. 類内膜腺癌 G1 は G3 に比べ細胞の結合性が強い。
5. 漿液性腺癌は類内膜腺癌に比べ核異型が弱い。

問題 35 卵巣腫瘍の細胞像について正しい組み合わせはどれか。

1. ブレンナー腫瘍 — hobnail cell
2. 卵巣甲状腺腫 — Call-Exner body
3. 卵黄嚢腫瘍 — hyaline globules
4. 顆粒膜細胞腫 — Schiller-Duval body
5. ディスジャーミノーマ — psammoma body

問題 36 子宮平滑筋肉腫の細胞像として正しいのはどれか。

1. 細胞集塊は結合性に乏しい。
2. 細胞境界は明瞭である。
3. 核は円形である。
4. 核小体は不明瞭である。
5. クロマチンは均一分布を示す。



問題 37 肺癌集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分に関して正しいのはどれか。

1. 喀痰 1 検体の全標本に関する総合的判定である。
2. 喀痰中にリンパ球を認めない場合は A 判定とする。
3. 判定困難な場合は B 判定とする。
4. 高度異型扁平上皮細胞を認める場合 C 判定とする。
5. D 判定の場合喀痰の再検査を行う。

問題 38 肺癌の細胞所見で誤っているのはどれか。

- |             |   |            |
|-------------|---|------------|
| 1. 扁平上皮癌    | － | オタマジャクシ状細胞 |
| 2. 小細胞癌     | － | 木目込み様配列    |
| 3. 腺癌       | － | ごま塩状核クロマチン |
| 4. 大細胞癌     | － | 著明な核小体     |
| 5. カルチノイド腫瘍 | － | ロゼット様配列    |

問題 39 正しい組み合わせはどれか。

- |               |   |          |
|---------------|---|----------|
| 1. ラインケ結晶     | － | 塵肺症      |
| 2. アミロイド小体    | － | 珪肺症      |
| 3. ランゲルハンス細胞  | － | サルコイドーシス |
| 4. ラングハンス型巨細胞 | － | 好酸球性肉芽腫  |
| 5. クルシュマンらせん体 | － | 気管支喘息    |

問題 40 尿細胞診について正しいのはどれか。

1. 早朝第一尿を採取する。
2. 尿の採取量は多い方がよい。
3. 肉眼的血尿では希釈処理を行う。
4. 採取後に約 12 時間静置してから処理する。
5. 自然尿では膀胱洗浄尿よりも多数の尿路上皮細胞が出現する。

問題 41 尿細胞診の感度が最も高いのはどれか。

1. 低異型度尿路上皮癌
2. 上皮内癌

3. 横紋筋肉腫
4. 腎細胞癌
5. セミノーマ

問題 42 消化管間質腫瘍について正しいのはどれか。

1. CD34 陽性である。
2. c-kit 陰性である。
3. 類円形細胞が多い。
4. ビメンチン陰性である。
5. 線維芽細胞由来である。

問題 43 肝細胞癌の細胞所見として誤っているのはどれか。

1. 顆粒状細胞質
2. 細胞質の脂肪化
3. 細胞質内の胆汁
4. 細胞質内の粘液
5. 細胞質内の球状硝子体

問題 44 甲状腺の穿刺吸引細胞診について正しい組み合わせはどれか。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 橋本病     | － 好中球背景      |
| 2. 腺腫様甲状腺腫 | － アミロイド物質    |
| 3. 乳頭癌     | － ローピーコロイド   |
| 4. 髄様癌     | － 微細顆粒状クロマチン |
| 5. 未分化癌    | － 異染性顆粒      |

問題 45 乳腺穿刺吸引細胞診について正しいのはどれか。

1. 乳管内乳頭腫では腫瘍細胞の結合性が低下する。
2. 線維腺腫では背景に間質細胞がみられる。
3. 浸潤性小葉癌では背景に著明なリンパ球浸潤を伴う。
4. 髄様癌は核異型が弱い。
5. 悪性葉状腫瘍では上皮成分が欠如する。

## 選択問題A

問題 46 HPV と子宮頸癌について正しいのはどれか。

1. コイロサイトの存在は癌化に伴う変化である。
2. HPV6 型・11 型はハイリスク HPV である。
3. HPV18 型は腺癌の発生に関与している。
4. HPV58 型は最小偏倚性粘液性腺癌の発生に関与している。
5. 扁平上皮癌のハイリスク HPV 検出率は 50% である。

問題 47 子宮頸部細胞診について誤っているのはどれか。

1. 排卵期では細胞成熟指数(M. I. )は右方移動を示す。
2. クラミジア感染症では細胞質内封入体を形成する。
3. ヘルペス感染では核にすりガラス様変化がみられる。
4. 上皮内癌は高度扁平上皮内病変(HSIL)に相当する。
5. 疣状癌は核異型が著明である。

問題 48 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. 大部分は腺異形成より発生する。
2. 芽出が認められれば微小浸潤腺癌である。
3. 粘液性腺癌が多い。
4. 細胞診では核は中心性に位置する。
5. 絨毛腺管状乳頭状腺癌は予後不良である。

問題 49 卵巣腫瘍の細胞像について誤っているのはどれか。

1. 顆粒膜細胞腫では核溝がみられる。
2. 莢膜細胞腫では紡錘形の核を有する。
3. 漿液性嚢胞腺癌では細胞重積が著明である。
4. 粘液性嚢胞腺癌では核の偏在傾向がみられる。
5. ディスジャーミノーマでは好酸球が付随する。

問題 50 絨毛性疾患について正しいのはどれか。

1. 胞状奇胎の発生頻度は近年増加している。
2. 部分胞状奇胎の染色体は 3 倍体が多い。

3. 絨毛癌は異型合胞体栄養膜細胞の出現が主体である。
4. 侵入奇胎は細胞診で診断が容易である。
5. 胎盤部トロホブラスト腫瘍(PSTT)は合胞体栄養膜細胞が腫瘍化したものである。

#### 選択問題 B

問題 46 喀痰細胞診について正しいのはどれか。

1. 就寝時に喀痰を採取する。
2. 塗抹後は乾燥させてから固定する。
3. 肺癌検診では3日間の蓄痰法で行う。
4. 肺末梢型早期肺癌の検出を目的として行う。
5. 肺癌症例における喀痰細胞診の陽性的中率は70%である。

問題 47 膀胱癌について誤っているのはどれか。

1. 形態的に乳頭状腫瘍が多い。
2. 高齢者に多い悪性腫瘍である。
3. 上皮内癌は膀胱鏡検査での確認が難しい。
4. 最も頻度が高い症状は無症候性肉眼的血尿である。
5. デコイ細胞は膀胱癌に特徴的に出現する細胞である。

問題 48 乳腺穿刺吸引細胞診について正しいのはどれか。

1. 穿刺吸引には16Gの注射針を使用する。
2. 穿刺吸引は病変の中央部分から行う。
3. 湿固定では検体処理後速やかにアルコール固定する。
4. 背景に粘液が出現する時は、悪性と判定できる。
5. 非浸潤性乳管癌の集塊に筋上皮細胞が認められることはない。

問題 49 細胞診標本でアポトーシスを特徴とするリンパ節病変はどれか。

1. 猫ひっかき病
2. サルコイドーシス
3. 結核性リンパ節炎
4. ホジキンリンパ腫 結節硬化型

5. 壊死性リンパ節炎（菊池病）

問題 50 尋常性天疱瘡の特徴的細胞所見はどれか。

1. アスベスト小体
2. ツァンク細胞
3. すりガラス状核
4. コレステリン結晶
5. シャルコー・ライデン結晶

選択問題 C

問題 46 口腔粘膜擦過細胞診について正しいものはどれか。

1. 子宮頸部に比べて採取される細胞数が多い。
2. 疼痛や出血を避けるため軽く擦過するのがよい。
3. 慢性炎症による反応性の核異型を伴うことが多い。
4. 扁平上皮の深層型細胞がみられたら悪性と判定できる。
5. 液状化検体ではカンジダの仮性菌糸や芽胞は検出が困難である。

問題 47 棘融解により出現するのはどれか。

1. クルー細胞
2. デコイ細胞
3. ホブネイル細胞
4. バルーニング細胞
5. ツァンク細胞

問題 48 腺上皮細胞と筋上皮細胞からなる唾液腺腫瘍はどれか。

1. 粘表皮癌
2. 嚢胞腺癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 腺房細胞癌
5. 唾液腺導管癌

問題 49 HIV 関連口腔粘膜疾患はどれか。

1. 乳頭腫
2. 類天疱瘡
3. ハンター舌炎
4. 粘膜下線維症
5. 口腔カンジダ症

問題 50 初期口腔扁平上皮癌として正しいものはどれか。

1. 好発部位は口蓋である。
2. 病変の境界判定にはヨード染色が有用である。
3. 集団口腔癌検診での癌発見率は 1.0%である。
4. 表層分化が明瞭な扁平上皮癌は浸潤傾向がない。
5. 潰瘍からの擦過細胞診では癌の診断は困難である。

<鏡検問題>

総合科

①年齢、性別 ②臨床情報 ③検体または臓器 ④採取法

問題 1 ①50 歳、女性 ②不正出血 ③子宮腔部 ④ブラシ擦過

1. NILM (萎縮性膣炎)
2. HSIL (高度異形成)
3. 微小浸潤扁平上皮癌
4. 扁平上皮癌
5. 頸部腺癌

問題 2 ①24 歳、女性 ②検診 ③子宮腔部 ④ブラシ擦過

1. NILM (扁平上皮化生)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (高度異形成)
4. 微小浸潤扁平上皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 3 ①62 歳、女性 ②帯下 ③子宮腔部 ④サイトピック擦過

1. NILM (萎縮性膣炎)

2. NILM (トリコモナス膣炎)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 4 ①39 歳、女性 ②検診 ③子宮腔部 ④サイトピック擦過

1. NILM (エクソダス)
2. LSIL (軽度異形成)
3. AIS (上皮内腺癌)
4. 扁平上皮癌
5. 小細胞癌

問題 5 ①34 歳、女性 ②検診 ③子宮腔部 ④ブラシ擦過

1. NILM (扁平上皮化生細胞)
2. NILM (ヘルペス感染症)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (中等度異形成)
5. HSIL (高度異形成)

問題 6 ①41 歳、女性 ②帯下 ③子宮腔部 ④サイトピック擦過

1. NILM (カンジダ膣炎)
2. NILM (トリコモナス膣炎)
3. NILM (慢性頸管炎)
4. LSIL (軽度異形成)
5. HSIL (上皮内癌)

問題 7 ①30 歳、女性 ②不正出血 ③子宮内容物 ④内容物捺印

1. 内膜増殖症
2. 類内膜腺癌 (G1)
3. 癌肉腫
4. 胞状奇胎
5. 絨毛癌

問題 8 ①55 歳、女性 ②検診 ③子宮内膜 ④内膜吸引

1. 増殖期子宮内膜
2. 複雑型内膜増殖症
3. 類内膜腺癌 (G1)
4. 類内膜腺癌 (G3)
5. 明細胞腺癌

問題 9 ①46 歳、女性 ②不正出血 ③子宮内膜 ④内膜ブラシ擦過

1. 増殖期子宮内膜
2. 複雑型内膜増殖症
3. 類内膜腺癌 (G1)
4. 類内膜腺癌 (G3)
5. 明細胞腺癌

問題 10 ①55 歳、女性 ②腹部腫瘤 ③卵巣腫瘤 ④腫瘤捺印

1. 顆粒膜細胞腫
2. 未熟奇形腫
3. 漿液性腺癌
4. 明細胞腺癌
5. 悪性リンパ腫

問題 11 ①72 歳、男性 ②大腸癌術後 ③血痰 ④喀痰

1. 肺膿瘍
2. 小細胞癌
3. 大細胞癌
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌転移

問題 12 ①84 歳、女性 ②右下葉腫瘤影 ③気管支 ④洗浄液

1. 杯細胞増生
2. 基底細胞増生



3. 結核
4. 腺癌
5. カルチノイド腫瘍

問題 13 ①63 歳、女性 ②右肺門部結節影 ③肺腫瘍 ④腫瘍捺印

1. 過誤腫
2. 硬化性血管腫
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. カルチノイド腫瘍

問題 14 ①72 歳、男性 ②血尿 ③④自然尿

1. 結石症
2. 低異型度尿路上皮癌
3. 高異型度尿路上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

問題 15 ①34 歳、男性 ②陰嚢腫大 ③精巣腫瘍 ④腫瘍捺印

1. 精巣梗塞
2. 精巣結核
3. セミノーマ
4. 絨毛癌
5. 悪性リンパ腫

問題 16 ①48 歳、女性 ②③乳腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. 乳腺症
2. 乳管内乳頭腫
3. 線維腺腫
4. 浸潤性乳管癌
5. 粘液癌

問題 17 ①66 歳、女性 ②③甲状腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. 腺腫性甲状腺腫
2. 濾胞性腫瘍
3. 髓様癌
4. 未分化癌
5. 悪性リンパ腫

問題 18 ①67 歳、男性 ②胸水貯留 ③胸水 ④穿刺吸引

1. 組織球
2. 反応性中皮
3. 悪性中皮腫
4. 腺癌の転移
5. 悪性リンパ腫

問題 19 ①76 歳、女性 ②卵巣腫瘍 ③腹水 ④術中腹水

1. 組織球
2. 反応性中皮
3. 悪性中皮腫
4. 腺癌の転移
5. 悪性リンパ腫

問題 20 ①84 歳、女性 ②③舌縁部腫瘍 ④綿棒擦過

1. 舌炎
2. 扁平苔癬
3. 過角化症
4. 上皮異形成
5. 扁平上皮癌

歯科

①年齢、性別 ②臨床情報 ③検体または臓器 ④採取法

問題 1 ①66 歳、男性 ②③右下歯肉潰瘍 ④ブラシ擦過

1. 歯肉炎

2. 扁平苔癬
3. 過角化症
4. 上皮異形成
5. 扁平上皮癌

問題 2 ①64 歳、男性 ②③頬粘膜白色病変 ④歯間ブラシ擦過

1. NILM (過角化症)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (高度異形成),
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 3 ①84 歳、男性 ②③下顎骨内病変 (エックス線透過像) ④穿刺吸引

1. 顎放線菌症
2. エナメル上皮腫
3. 顎骨中心性扁平上皮癌
4. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
5. 顎骨中心性粘表皮癌

問題 4 ①74 歳、男性 ②③下口唇粘膜びらん ④擦過

1. ヘルペスウイルス感染
2. サイトメガロウイルス感染
3. 尋常性天疱瘡
4. 粘表皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 5 ①51 歳、男性 ②③上口唇粘膜白色病変 ④歯間ブラシ擦過

1. NILN (悪性所見なし)
2. カンジダ症
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 6 ①59 歳、男性 ②頸部リンパ節腫大 ③頸部リンパ節 ④穿刺吸引

1. 非特異性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性腺癌
5. 転移性扁平上皮癌

問題 7 ①63 歳、男性 ②③耳下腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. ワルチン腫瘍
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 8 ①66 歳、男性 ②③頬粘膜多発性水疱 ④ブラシ擦過

1. 口内炎
2. 尋常性天疱瘡
3. ヘルペスウイルス感染
4. 粘表皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 9 ①10 歳、女性 ②③口底部腫脹 ④穿刺吸引

1. 口底部膿瘍
2. 粘液嚢胞（がま腫）
3. 類皮嚢胞
4. 腺房細胞癌
5. 粘表皮癌

問題 10 ①89 歳、男性 ②③下顎歯肉白色病変 ④ブラシ擦過

1. 歯肉炎
2. 扁平苔癬

3. 過角化症
4. 上皮異形成症
5. 扁平上皮癌

問題 11 ①65 歳、女性 ②③耳下腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. サイトメガロウイルス感染
2. ワルチン腫瘍
3. 多形腺腫
4. 非ホジキンリンパ腫
5. ホジキンリンパ腫

問題 12 ①53 歳、男性 ②③耳下腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. ワルチン腫瘍
2. 多形腺腫
3. 腺様嚢胞癌
4. 唾液腺導管癌
5. 腺房細胞癌

問題 13 ①20 歳、女性 ②③下顎骨内病変（エックス線透過像） ④穿刺吸引

1. 歯根嚢胞
2. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
3. エナメル上皮腫
4. 顎骨中心性扁平上皮癌
5. 顎骨中心性粘表皮癌

問題 14 ①52 歳、女性 ②③耳下腺腫瘍 ④穿刺吸引

1. 耳下腺炎
2. ワルチン腫瘍
3. 多形腺腫
4. 腺房細胞癌
5. 悪性リンパ腫

問題 15 ①78 歳、男性 ②頸部リンパ節腫大 ③頸部リンパ節 ④穿刺吸引

1. リンパ節炎
2. 悪性リンパ腫
3. 転移性甲状腺乳糖癌
4. 転移性扁平上皮癌
5. 転移性悪性黒色腫

問題 16 ①67 歳、女性 ②③頬粘膜白色病変 ④ブラシ擦過

1. NILN (過角化症)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (高度異形成)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 17 ①37 歳、男性 ②③口蓋腫瘤 ④捺印

1. 壊死性唾液腺化生
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 18 ①63 歳、男性 ②③耳下腺腫瘤 ④穿刺吸引

1. ワルチン腫瘍
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 19 ①80 歳、女性 ②③舌縁部潰瘍性腫瘤 (長径 50mm) ④ブラシ擦過  
次に行うべきことを選べ.

1. 経過観察
2. ステロイド塗布

3. レーザー焼灼
4. 生検
5. 全切除

問題 20 ①60 歳、女性 ②頬粘膜びらん ③頬粘膜 ④ブラシ擦過

1. NILM (扁平苔癬)
2. LSIL (軽度上皮異形成症)
3. HSIL (高度上皮異形成症)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌